



タウンサポーター



【発行】下都賀教育事務所 ふれあい学習課 栃木市神田町6-6 0282-23-3422 E-mail: shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

地域をつなぐ ふれあい学習

小山市家庭教育支援チーム 「かざぐるま」

活動内容の紹介

私たち小山市家庭教育支援チーム「かざぐるま」は、平成21年に活動を開始してから今年で12年を迎えます。現在は、家庭教育支援への熱い気持ちをもった7名のメンバーで活動しています。

主な活動は、保護者同士の話し合いの中から《気づき》を得る、「親学習プログラム」というワークショップの実施です。就学時健康診断やPTA研修、授業参観などの保護者の方々が集まる機会を利用させていただき、令和元年度は学習会全体で1500人を超える参加がありました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、ワークショップの実施が困難なため、現在は情報紙『かざぐるま通信』の発行を中心に活動しています。目まぐるしく変化する状況の中にも、試行錯誤しながら活動を継続していきたいと思っております。



野木町

これからの地域づくり

野木町では、11月から1月にかけて～新たなまちづくりと担い手づくりを目指して～というテーマで町民大学を8回シリーズで開催しています。受講者は30歳代から80歳代まで、幅広い年代の方々14名です。



「地域づくりとは、組織ではなく人のつながり、知人や友人を増やす活動である。」等を踏まえ受講者同士の交流を深めていきながら、自分に何ができるのか、仲間づくりや実践方法を学習しています。

第1回目の講座終了後には、受講者同士で会話を楽しんでいる様子も見られ、早速、人と人とのつながりを感じることができました。

今後も、これからの地域の連携・協働の在り方、さらにはボランティア活動へ、そしてそれが子どもたちの成長にもつながっていくよう、学習機会の提供等に努めていきたいです。

令和3(2021)年度 下都賀地区ふれあい学習研修会

兼 下都賀地区地域連携教員研修Ⅱ 兼 社会教育主事・有資格者ステップアップ研修Ⅰ 兼 下都賀地区生涯学習研究会第1回研修会

11月26日(金)、栃木市国府公民館にて、標題研修会を開催しました。研修では、壬生町社会教育委員会議の松山 美由紀委員と壬生町生涯学習課の高橋 唯拓 社会教育主事から「壬生町放課後学習サポート事業」の事例を、とちぎ高校生蔵部の 菅谷 悠樹 代表と栃木市生涯学習課 落合 崇 社会教育主事から「とちぎ高校生蔵部の取組」の事例を、それぞれ発表していただきました。それを受け、國學院大学人間開発学部子ども支援学科の青木 康太郎 先生から『自己肯定感を高める子供の頃の体験や大人の関わり』～学校・家庭・地域でできることは何か?～という演題でお話しいただきました。

二つの事例と講話から、子どもたちの自己肯定感を育てていくためには、能動的な体験に加え、それらを通じて得られる感情や気づきなど内面に関わる部分が大切であることや、その部分を私たち大人が意図的、計画的に提供していくことが重要であることを学びました。



下都賀地区PTA指導者研修Ⅱ

10月14日(木)、小山市桑市民交流センター(マルベリー館)を会場に、下都賀地区PTA指導者研修Ⅱを開催しました。今年度も対象者を限定しての開催となりました。

「家庭・地域と連携した防災教育がもたらす多様な効果」を演題に、群馬大学教授 金井 昌信 氏より、防災教育の視点から、子どもの安心・安全な環境づくりにおけるPTAの役割について具体的な事例を基に御講話いただきました。

〈参加者の感想〉

- ・子どもが学校にいる時の防災は、学校任せではなく家庭と連携して防災訓練を行う必要があると学びました。今後、PTAとしてできることを働きかけていきたいです。
- ・大変気付きの多い研修会でした。主体性を身に付けることの大切さを改めて考えることができました。



スポーツを通じた地域の絆づくり



◆◇団体を契機とした新しいとちぎづくり◆◇

スポーツを通じた 未来の人づくり

- 子どもたちの夢や希望を創造し県民の絆を深め地域を担う人づくり
- 県民の体力向上や健康寿命の延伸

多彩なスポーツを 誰もが活躍できる環境づくり

- 県民誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくり
- 世界に通じるアスリートの育成とその活躍による栃木のイメージアップ

スポーツや文化を 生かした地域づくり

- 地域密着型のスポーツ振興を通じた地域づくり
- 観光資源スポーツの融合によるスポーツツーリズムの創出
- 栃木の魅力発信による観光誘客・交流人口増や定住促進

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催まであと1年となりました。2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の翌年となる好機を生かし、ハード・ソフト両面のオリンピック・レガシー(遺産)を受け継ぎながら県民総力を挙げて、栃木の魅力・実力を国内外に発信することを目指しています。次号から市町の取組を御紹介いたします。

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。